報道関係各位

平成 30 年 6 月吉日

独立行政法人国立文化財機構

文化財活用センター

開設 報道発表会のご案内

平成 30 年 7 月 2 日（月）12:30～13:00（受付開始 12:10）
会場：東京国立博物館　東洋館　地下 1 階ほか

拝啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、独立行政法人国立文化財機構は、平成 30 年 7 月 1 日（日）に「文化財活用センター」を開設することとなりました。

同センターは、すべての人びとが、文化財に親しみ、身近に感じる機会を拡大すること目的として、企業等と連携した高精細レプリカやＶＲ等による新しいコンテンツの開発や、国立博物館の収蔵品の貸与促進事業、データベースの整備と公開、文化財の保存・管理に関する相談窓口の開設などを行ってまいります。

「文化財活用センター」の主な事業内容
（１）　文化財に親しむためのコンテンツの開発とモデル事業の推進
（２）　国立博物館の収蔵品の貸与促進とそれにかかわる助言
（３）　文化財のデジタル資源化の促進と国内外への情報発信
（４）　文化財の保存等に関わる相談・助言・支援

つきましては、本センター開設に当たり、報道発表会を開催いたします。
ご多忙と存じますが、ぜひご取材くださいますよう、ご案内申し上げます。

敬具

＊――――――――――――――――――――――――――――――――――＊

【日時・会場】
日時：平成 30 年 7 月 2 日（月）12:30～13:00
※受付開始 12:10　東京国立博物館　平成館 1 階エントランス
※当日は西門（国際子ども図書館向い）よりご来館ください
会場：東京国立博物館　東洋館　地下 1 階　TNM&TOPPAN ミュージアムシアター
同　5 階　文化財活用センター

出席：
文化庁長官	宮田亮平
国立文化財機構理事長	松村恵司
文化財活用センター長	旭　充
東京国立博物館長	銭谷眞美

ご出席いただける場合には、6 月 28 日（木）までに別紙 FAX 返信用紙にてお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

＊――――――――――――――――――――――――――――――――――＊

お問合せ先　独立行政法人国立文化財機構　文化財活用センター（仮称）準備室

独立行政法人
国立文化財機構

文化財活用センターについて

【Mission】

文化財は、「長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた人類のたからもの」であり、今後、文化財を未来に伝えていくことは重要な責務

国内外のあらゆる地域で全ての人々が、文化財に親しむとともに身近に感じ、豊かな体験や学びを得ることができるようにするため「文化財活用センター」を開設し、文化財の活用に関する新たな方法やコンテンツ、プログラムの開発等を行う

【目的を達成するために取り組むべき事業】

企画担当

文化財に親しむためのコンテンツ開発とモデル事業の推進

○先端的な技術によるレプリカやVR、AR、8K映像等のコンテンツの開発

○企業や各種団体との連携による文化財活用事業のプロデュース　など

【平成30年度】

企業等と連携した高精細レプリカやVR等の制作とコンテンツ開発

例）
親と子のギャラリー「なりきり日本美術館」（レプリカ・映像活用）（NHK Eテレ「びじゅチューン！」と連携）
※映像等を活用した参加体験型展示企画

など

貸与促進担当

国立博物館の収蔵品の貸与促進とそれに関わる助言

○収蔵品の貸与促進事業の実施と国内の博物館・美術館からの文化財貸与に関わる相談窓口の開設

【平成30年度】

東京国立博物館の収蔵品の貸与に伴う特別支援

例）
大分県立美術館　への貸与
貸与予定件数：44件
輸送・保険等の費用をセンターが負担

など

ﾃﾞｼﾞﾀﾙ資源担当

文化財のデジタル資源化の推進と国内外への情報発信

【平成30年度】

国立博物館所蔵品のデジタル・アーカイブ（「ColBase」「e国宝」）の充実

例）
「ColBase」の多言語化（英に加え中・韓）、掲載画像の拡大等

など

保存担当

文化財の保存等に関する相談・助言・支援

【平成30年度】

国内外の博物館・美術館からの文化財保存環境に関する相談窓口の開設と助言

例）
地方公共団体の文化財を中心に収蔵・展示環境に関する相談対応

など

【Vision】

全ての人々が、文化財を「守り」「伝える」ために、考え、参加する社会へ

（独）国立文化財機構組織図（平成30年7月1日）